

コンサルタントの現場から

(株)ジェムコ日本経営 高橋 功吉

「コンサルタントの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で見聞きしたことの中から、参考になるのではないかと四方山話を綴ったものです。

第261回 造りすぎのムダと言うけれど

仕事柄多くの企業で講演をさせていただく。一方的にお話をさせていただくという場合もあるが、数十人の規模であれば、どの程度、基本的なことが理解されているかを確認するために、皆さんに質問をしながら進めることは多い。

一番質の悪い「造りすぎのムダ」

ところで、ものづくり改善を進める際に、最初に話しをするのが「造りすぎのムダ」だ。造りすぎると、手待ちのムダが見えなくなる。どこがネック工程かわからず改善が進まなくなる。一番質の悪いムダだ。また材料などを先食いすることになる。造りすぎということは仕掛在庫や完成品在庫が増えることを意味し、その在庫が他のムダを隠してしまうのだ。

造りすぎると利益はどうなる？

ところで、この造りすぎのムダの話しの後、「造りすぎて在庫を増やすと利益はどうなるだろうか」というような質問をよくする。回答の選択肢は3つ。

一つ目は「利益は減る」。どんどん生産することで製造原価は増えるので、当然利益は減るという考え方だ。造りすぎのムダというくらいなのだから、利益は当然減るはずと考える人は多い。

二つ目は、「利益は変わらない」。これは損益計算書を知って

いる人の回答に多い。利益は、売上高から売上原価を引いて売上総利益を求め、そこから販売費および一般管理費を引いて営業利益を求める。売上原価は、その売り上げに使った分の原価ということになるので、前期の棚卸資産に当期の製造原価を加え、期末の棚卸資産を引いて求める。すなわち、どれだけ棚卸資産を増やしても売上原価が増えることはないので、利益は変わらないというものだ。

三つ目は、「利益は増える」。これが正解なのだが、これは造りすぎることによって製造原価は増えるのだが、増えるのは生産量と共に使用量が増える材料費などだ。このように生産量や売上高の変動によって変化する費用を変動費と言う。それに対して、減価償却費や間接労務費などは、生産量に関係なく同じだ。生産量や売上高が変動しても変わらない費用を固定費と言っている。すなわち、1 個あたりの原価を見てみると、材料費などの変動費は同じだが、減価償却費をはじめたとした固定費は、大量に生産すればするほど、下がることになる。すなわち、大量に造りすぎればすぎるほど 1 個あたりの原価が下がるので売上原価は下がり、利益は増えるのだ。

【第9面に続く】

<執筆者プロフィール>



高橋 功吉 (たかはし こうきち)

(株)ジェムコ日本経営 / 常務理事 グローバル事業担当

大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007 年執行役員、2011 年取締役、2015 年 6 月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」(日経BP) 他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMCI (国際公認経営コンサルティング協会) 認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マスターマネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

掲載広告クリックでスポンサー様サイトにアクセスできます(一部広告を除きます)。

防災設備の点検はきちんとできていますか？



- ☐ 適切なメンテナンスなき設備は火災時に機能しないことも有。
- ☐ 法整備や建物の増床等で現状は基準に満たなくなっているケースも。

火災報知器、消火設備すべて纏めて診断、見積、是正工事実施いたしますので担当者様の負担減にもなります。

【各機器の交換時期の目安】



きちんとメンテナンスを行わないと耐用年数未満での故障も増加。また、設置位置の誤りや不適切なセンサーが使用されている場合もございます。

警備コストのムダを見直しませんか？



- ☐ 人による警備をシステムに置き換えることで経費削減。
- ☐ システム活用によりヒューマンエラーが起こらないメリット有。

導入コストは、リースにすることにより、実質負担ゼロからのご提案も可能となります。

タイ王国でも日本と同様にお客様の「安心・安全」をお届けするのをモットーとしております **ALSOK Thai Security Service Co., Ltd.** がサービスを提供いたします。お客様ごとに確かな経験を活かし、適切な防犯、防災プランをご提案いたします。

ALSOKホームページ
「ALSOK Thai Security Service Co., Ltd.」
<https://www.alsok.co.th/>
「総合警備保障株式会社 (ALSOK)」
<https://www.alsok.co.jp/>



お問い合わせ先

Bangkok Shuho International Co., Ltd.

Charn Issara Tower 1st Fl., 942 / 43 Rama 4 Rd., Suriyawongse, Bangrak, Bangkok 10500

Tel: 02-632-9179 Mobile: 063-474-2358

E-mail : info@bangkokshuho.com 担当：臼井・高井

【第8面から続く】

造りすぎで利益を出す

すなわち、造りすぎのムダと言うけれど、造りすぎれば利益は上がるのだ。事業の推進では、いかに利益を増やすのかが重要な管理ポイント。本社からうるさく利益、利益と言ってくるという在タイ企業も多いのではないだろうか。計画通り利益が確保できないようなら、徹底して在庫を積み増せば利益は出せるのだ。

造りすぎはなぜいけないのか

在庫を積み増せば、利益を増やすことはできる。しかし、そ

れで経営は成り立つだろうか。経営の基本は、株主や金融機関から預かったお金を事業に必要な資産に換え、その資産を使っていかにお金を増やすかということだ。お金を増やすためには、利益が欠かせない。しかし、造りすぎで利益を出してもお金は増えるだろうか。大切なお金を在庫にすることでお金を減らしただけということになる。誤った利益の出し方をするとお金は減る。キャッシュフローの本質を理解して経営推進をすることが一番大切ということだ。

造りすぎをすれば利益は出せるが、お金は減る。だから一番質の悪いムダということも言えるのだ。

盤谷日本人商工会議所ニュース**バンコク日本人商工会議所****日本人のタイ入国に関する緊急アンケート結果発表**

バンコク日本人商工会議所（JCC）（荻原勝一会頭：泰国三菱商事会社）は5月20日、日本人のタイ入国に関する緊急アンケート結果を記者発表した。このアンケートは、5月11～14日にかけて、JCC 全会員1763社を対象に行われたもので、758社（回答率43%）が回答。アンケートでは、日本でタイ入国を待機している日本人の状況やタイ政府指定視察での14日間強制隔離への対応等について調査が行われた。詳細は<https://www.jcc.or.th/haien/>。

繊維部会 繊維市場動向の情報交換会を開催

繊維部会（高林和明部会長：東レ・インダストリーズ・タイランド）は5月20日、5月度繊維部会を開催し、タイの一般概況や繊維市場動向に関する部会員同士の情報交換を行った。

当日は、冒頭に高林部会長からタイの経済動向に関する最新情報について説明があり、その後、参加した各企業が各社の売上動向を報告しながら、タイ国内市場及び輸出入の状況などについて意見交換を行った。

**2020 年上期景気動向調査を実施**

経済調査会（竹谷厚調査会長：ジェトロ・バンコク事務所）では年2回、会員企業を対象に「景気動向調査」を実施。この調査はタイの投資環境の現状や問題点を把握するとともに、タイ政府への政策提言材料とし、投資環境の改善に役立てることを目的として実施している。また、タイ経済に大きな影響力をもつ日系企業の動向を包括的に把握することのできる唯一の調査であることから、タイ政府関係者やメディアの皆様からも毎回大きな注目を集めている。すでに会員企業には調査票をメールで配布済。回答提出期限は6月10日（水）。

掲載広告をクリック※でスポンサー様サイトにアクセスできます（一部広告を除きます）。

太陽光発電設備を10年間レンタルし その後は設備を譲渡します※

※レンタル期間終了後にお客様に購入選択権有。ご購入価格についてはお問合せください。

—— もちろん初期投資も一切不要 ——

自社工場の屋根で電気を自家発電しませんか？

- ☑ 太陽光発電設備を約10年間（10年～13年）、取り付け費やメンテナンス費込みで提供するエスコ方式です。
- ☑ 毎月の費用は、下がった電気代の中から10年間いただくだけです。



これまでのタイ国内の実績（お取り付け企業様）やご提案書につきましては、下記までお問い合わせください。
BOI恩典を使用したご購入についても、BOI専門のコンサルタントがご相談をお受けいたします

バンコク週報コンサルティング事業部

E-mail: info@bangkokshuho.com

TEL: 02-632-9179

【担当】 臼井（うすい）、高井（たかい）、ティティパンまで

 **WEST International(Thailand)Co.,Ltd.**